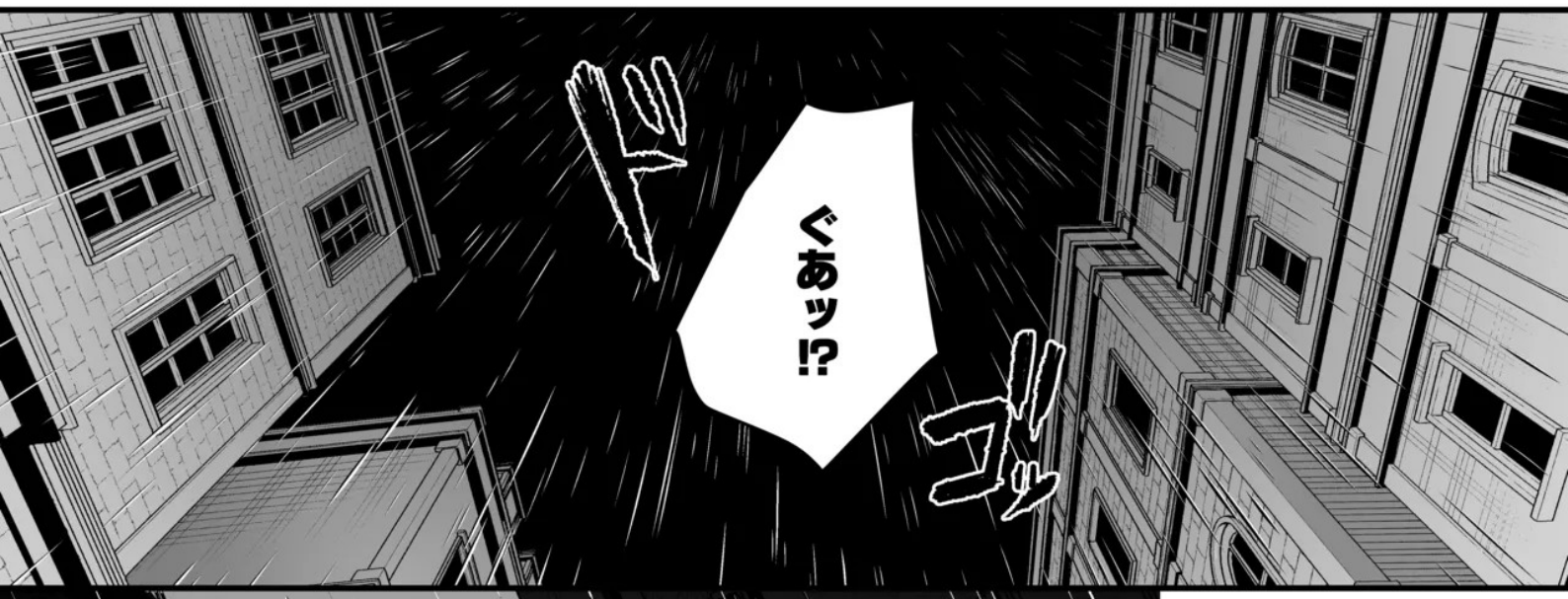
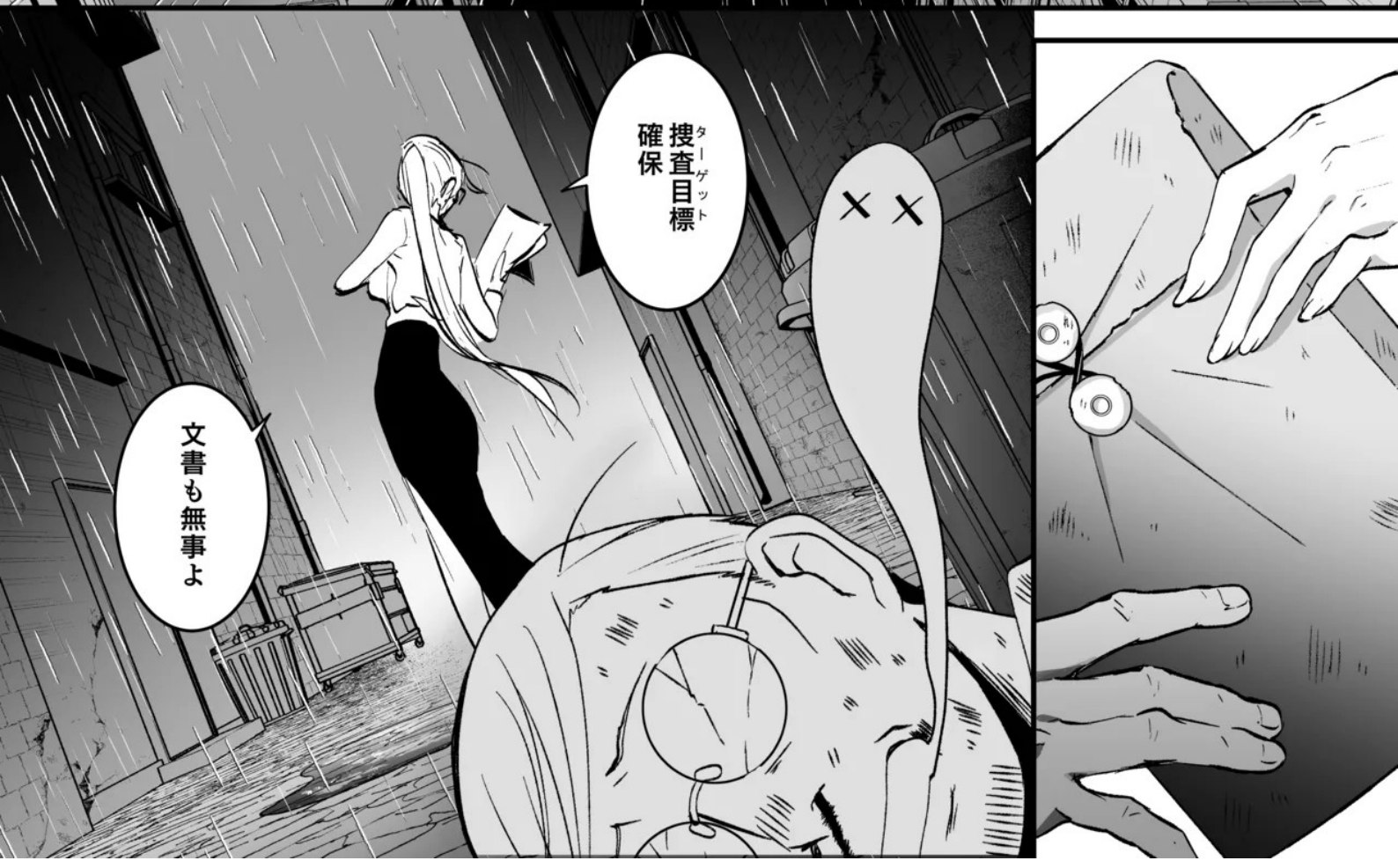
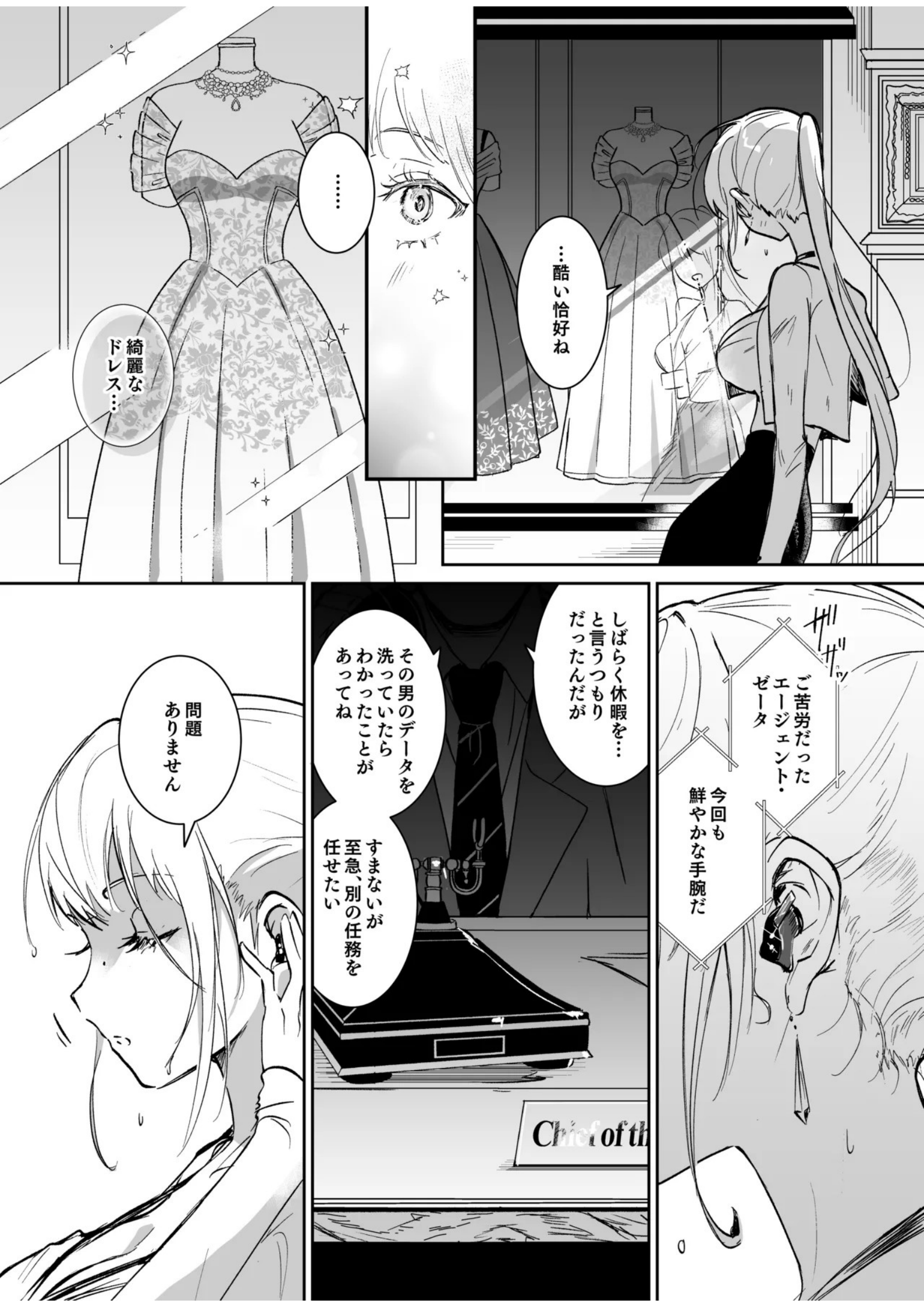
潜入捜査は
失敗しました
成人向け
R18
ADULT ONLY
18歳未満
購入・閲覧禁止

く、来るなッ
ザァァ
なんだ
お前は…っ
コツ…
俺は何も…ッ

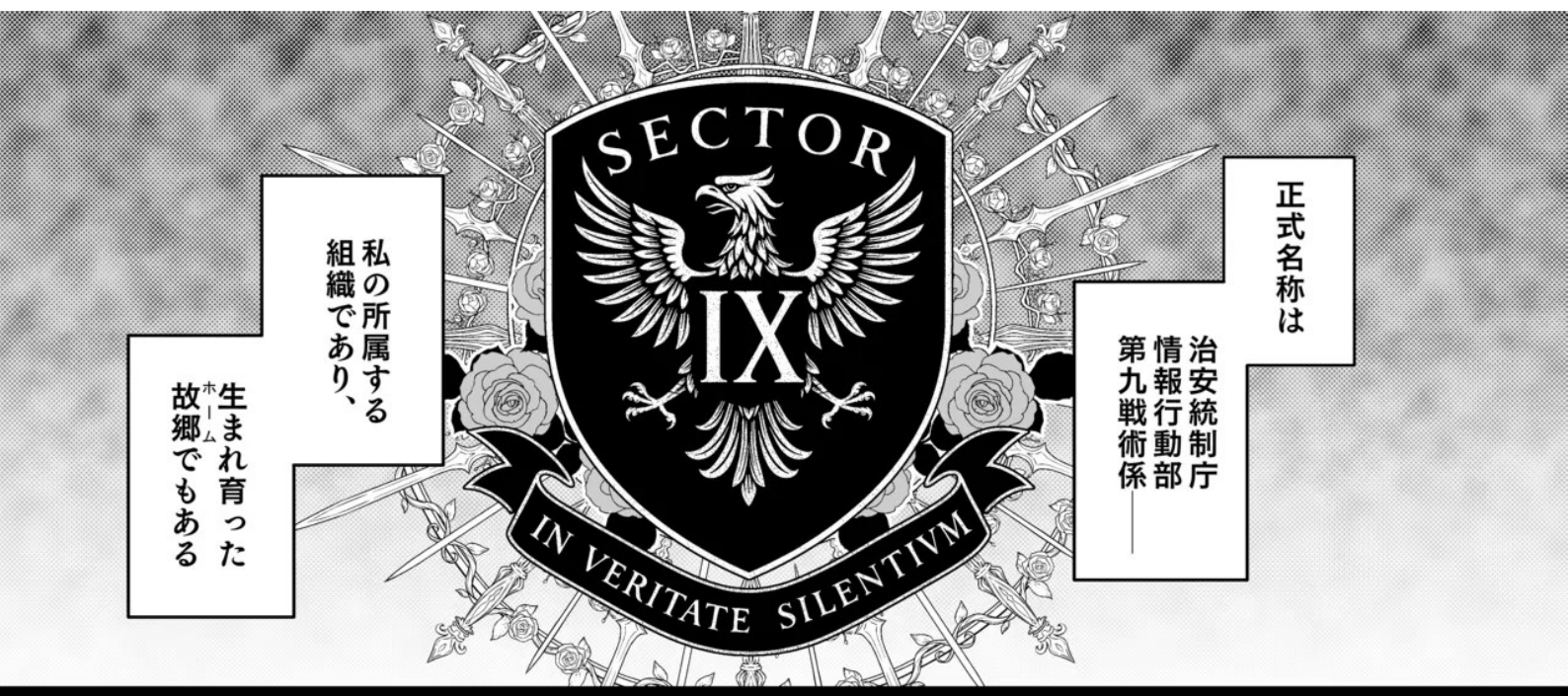

ぐあッ!?
ドン
ゴッ


捜査目標(ターゲット)
確保
文書も無事よ

任務完了
これにて潜入捜査を終了…——
ポタッ
ふぅ…


…酷い恰好ね
……
綺麗なドレス…
ご苦労だったエージェント・ゼータ
今回も鮮やかな手腕だ
しばらく休暇を…と言うつもりだったんだが
その男のデータを洗っていたらわかったことがあってね
すまないが至急、別の任務を任せたい
Chief of th
問題ありません

それが私たち「セクター9」の使命ですから
さすがはエリート部隊のエースだ
それでは頼んだよ
次の任務は――…
ブロロ…
「セクター9」



正式名称は
治安統制庁
情報行動部
第九戦術係

私の所属する
組織であり、
生まれ育った
故郷（ホーム）でもある

適正のある
孤児たちの
中から
厳しい鍛錬を経て
更に選抜された者が
辿り着く場所…

秘匿された
政府の特務機関

私はそこで
物心ついた時から
潜入捜査官として
数多の成果を
挙げてきた

毎回
新しい名前と
役割を与えられ
完璧に演じ
任務を遂行する

失敗は絶対に
許されない

これが
当たり前の
私の日常だ

到着しました

バタンッ
ここが…——
貴女が新入りメイド？
ブロロ…
使用人入り口はこっちよ

今回の潜入先は
とある富豪一族の
秘匿された別荘

南部の人里離れた
湖畔にたたずむ
美しいヴィラ

ベッドルーム三室

テニスコート
白木のヨット一隻

スパにプール
噴水と庭園

小ぶりながらも
豪奢な邸宅だ

今回の私は
この屋敷に勤める
「新入りメイドのエヴァ」

叔母の紹介で
田舎から出てきた
純朴な娘

新入りメイドのエヴァと申します
これからよろしくお願いいたします
まぁ！
可憐なお嬢さんね！
ここは人手も少ないし来てくれて助かるわ～
……だけど
…くれぐれも旦那様の目に留まらないように気をつけなさいね
旦那様…ですか？
この別荘の主…
ヴァーノン家の次男ギャリック様のことよ
あまりご帰宅なさらないから顔を合わす機会も少ないでしょうけど…

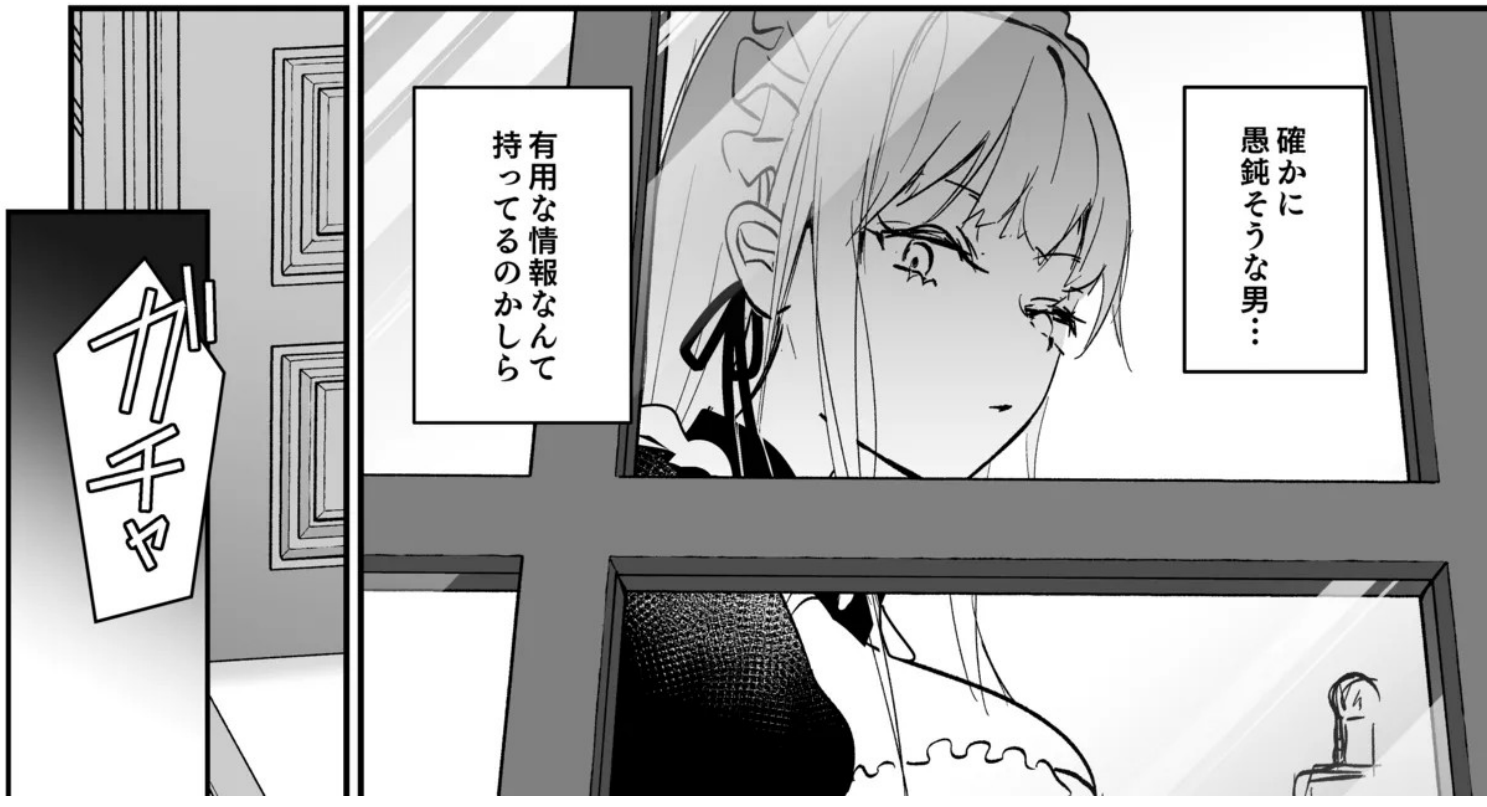
ヴァーノン家…
製薬業で財を成した富豪一族
しかし二年前ヴァーノン家は研究資産ごと隣国へ亡命した
理由は不明
だが国家機密を持ち出した可能性が極めて高いとされており——
その捜査が今回の私の任務だ
おい!!
旦那様がお帰りだ!
なんてこと…!
エヴァ!
早速で悪いけど旦那様の部屋へこれを運んで頂戴
旦那様は帰宅後すぐにお風呂に入られるから鉢合わせることは無いはずよ
かしこまりました
チラ:

当主のヴァーノン卿は
慎重な男で隙が無い

跡取り息子の
長男も同様…

一方で次男は
単純で隙だらけ

情報を引き出すのに
うってつけの男だ



早速部屋に入れて良かったわ
カチャ
カチャ
あれぇ～？
女？

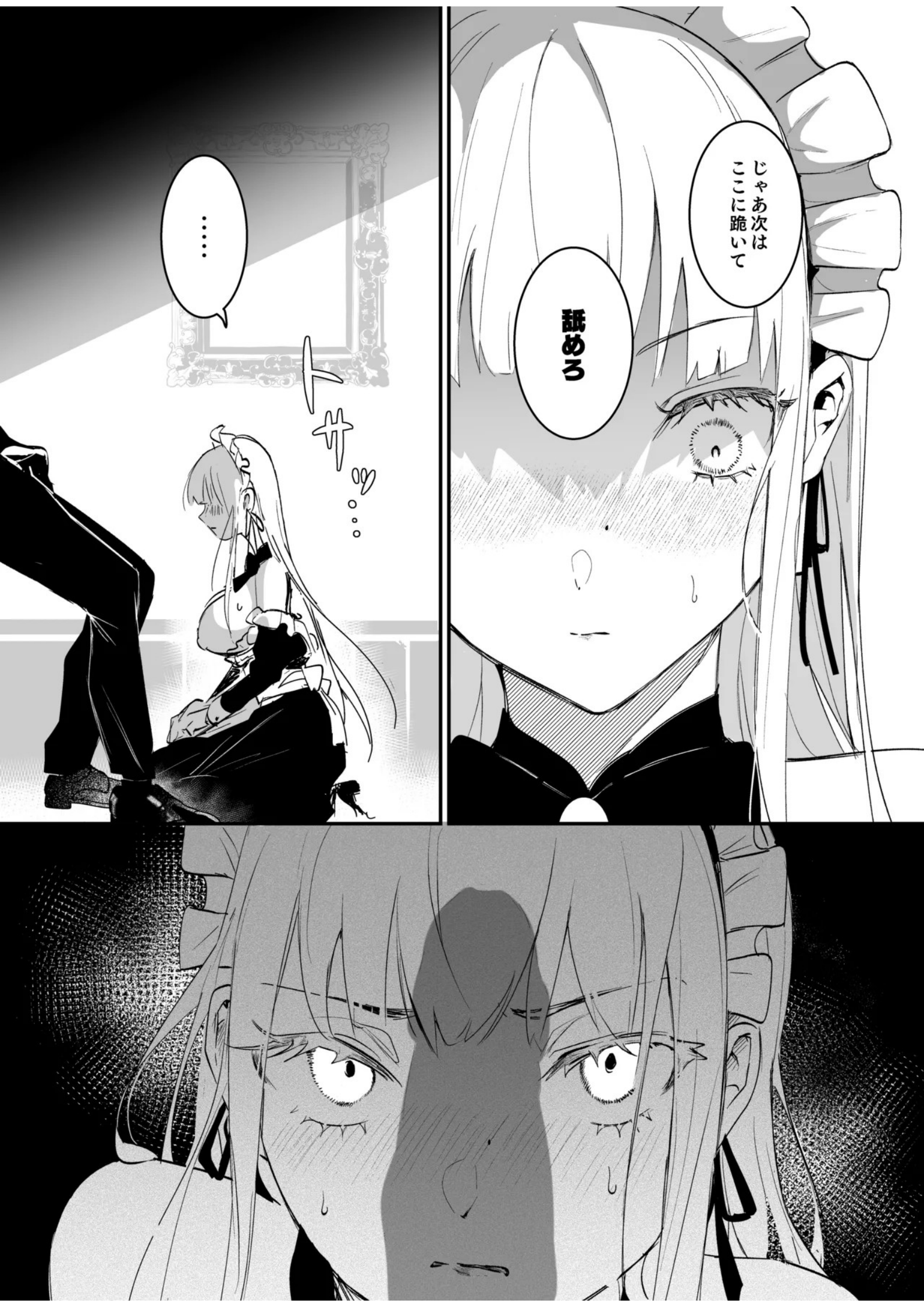
!!
ひっ
お～♥
若い女♥
なっ…!!
もみ♥
もみ♥
ガバ
ハッ

新入りか～？
良いカラダしてんじゃねぇか
抵抗すんなよ
俺が誰だかわかるだろ？
ぐらっ…

ガシャン
!!
あーあー…
この酒…
お前に
弁償できるような
額じゃねーぞ？
…
申し訳…
ございません
おっ
かわいい声♥
顔は――
いっ

落ち着け…そう…これも任務の一環よ

……
何を…すれば
よろしい
でしょうか
物わかりが
いいじゃねーか
そうだな
まずは…
脱げ
スル…ッ
…っ
…待て
それくらいの方が
興奮する
？
かしこまりました


じゃあ次は
ここに跪いて
舐めろ
……
トサッ…。

ちゅ♥
んっ…
は…ッ
っ…
ぞろろ〜っ
はぁ、良いぞ…
上手だ…
ちゃぷ♥
ちゅ♥
お前、名は？
…っ…
ぐぽ♥
ぐぽ♥
んっ…
エヴァと
申しまふ…
そうか
エヴァ！
いい子だ…

バカな男…
でも単純そうで助かるわ
早く終わらせてさっさと…
おい
立って壁に手をつけ
早くしろ！
…っかしこまりました

…これで
よろしい
でしょうか…？
ハッ!!
お前も少しは
期待してたん
じゃねぇか？
…
…っ
ん…

何とか言えよオラッ
ッ!!
この男…ッ
メイドの分際で随分お高くとまってんなァ!
あァ!?
んッ!!

抱いてくれて
ありがとう
ございます、だろ？
ぐっ
…ハ…ッ
ばちゅ
ばちゅ
おッ
―がとう…
ございます…ッ

聞こえねーなァ!!
ばちゅっ
ッ！
あり、がとうッ
ございます…ッ！

あ～ヤベ
もうイキそッ
射精すぞ
エヴァ…!!
膣内(ナカ)にッ
う…ッ
ビュルル…
ぐッ…!
ッ…!
ブプ…♥
まだ
射精るッ…!
っ…

それからの私は
あの男の性欲を満たす
玩具だった

おい
ここでヤれ
かしこまり
ました
ぬぎっ♥
旦那様…
たら～
あぁ…
良いぞ…ッ
エヴァ
お前は
娼館育ちか？
…ッ、
いえ…
すげぇ
テク…ッ
あークソ
もうイキそ…
たぷっ♥
たぷんっ

ッ、おい
しっかり舌出して
受け止めろ
っ、ふぁい…っ
…っ
ヒュー
ヒュー♡
不快極まりない
数週間だったが
この屋敷と
ギャリックの
日常を観察して
いくつかわかった
ことがある

その書斎に時折
本邸からの
上級使用人が来て
密談をしていること

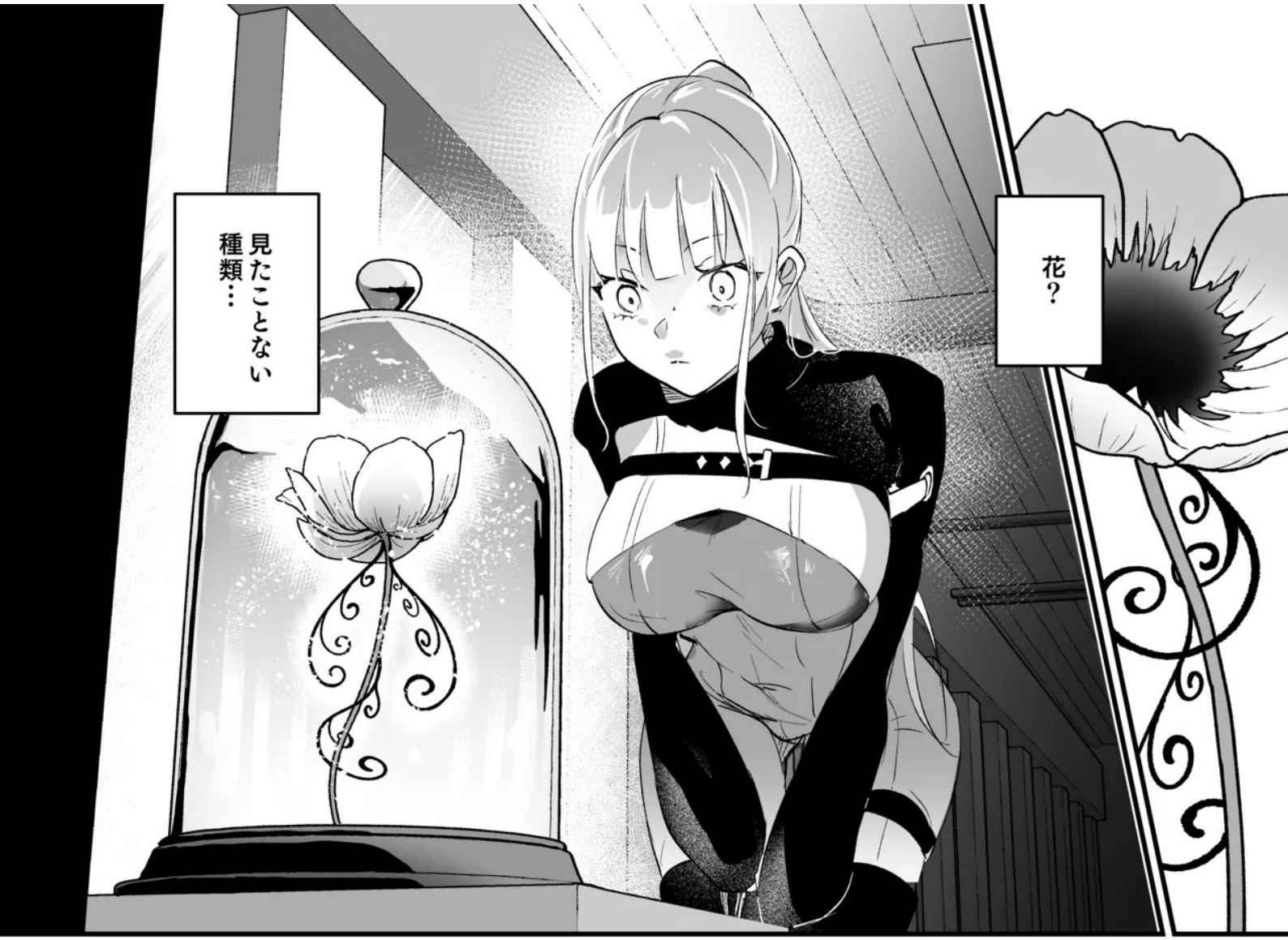
ギャリックは
所構わず盛って
私を弄ぶが
書斎にだけは
近寄らせないこと

女遊びは
派手なようだが
屋敷の中に
部外者は一切
入れないこと…

それらの情報を
繋ぎ合わせると——
やっとこの
うんざりする日々を
終わらせられそうね

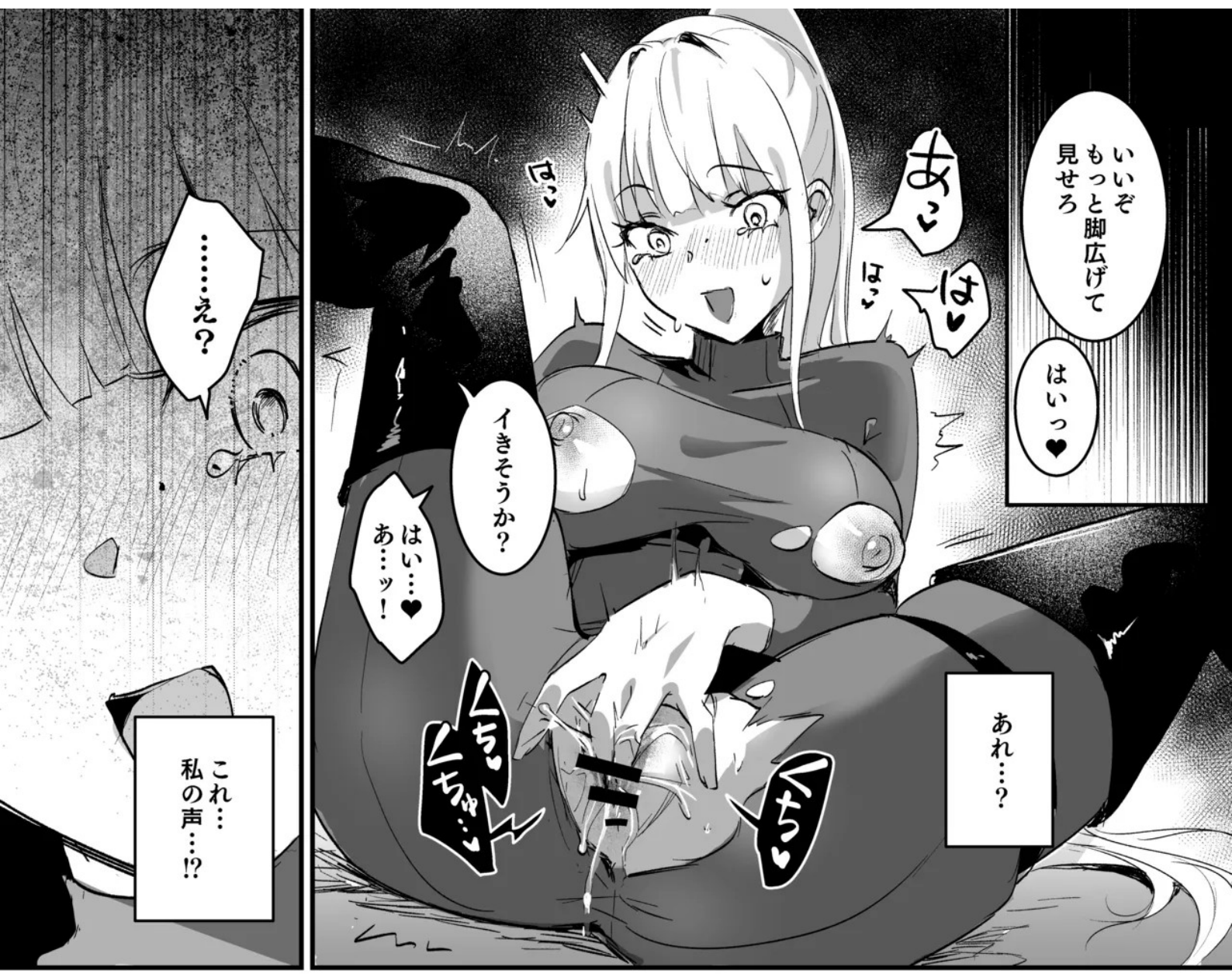
ホーホー
はっ
ヒュ
トン
書斎へ侵入成功
きっとどこかに…
!!
カチッ
隠し扉…！
当たりね

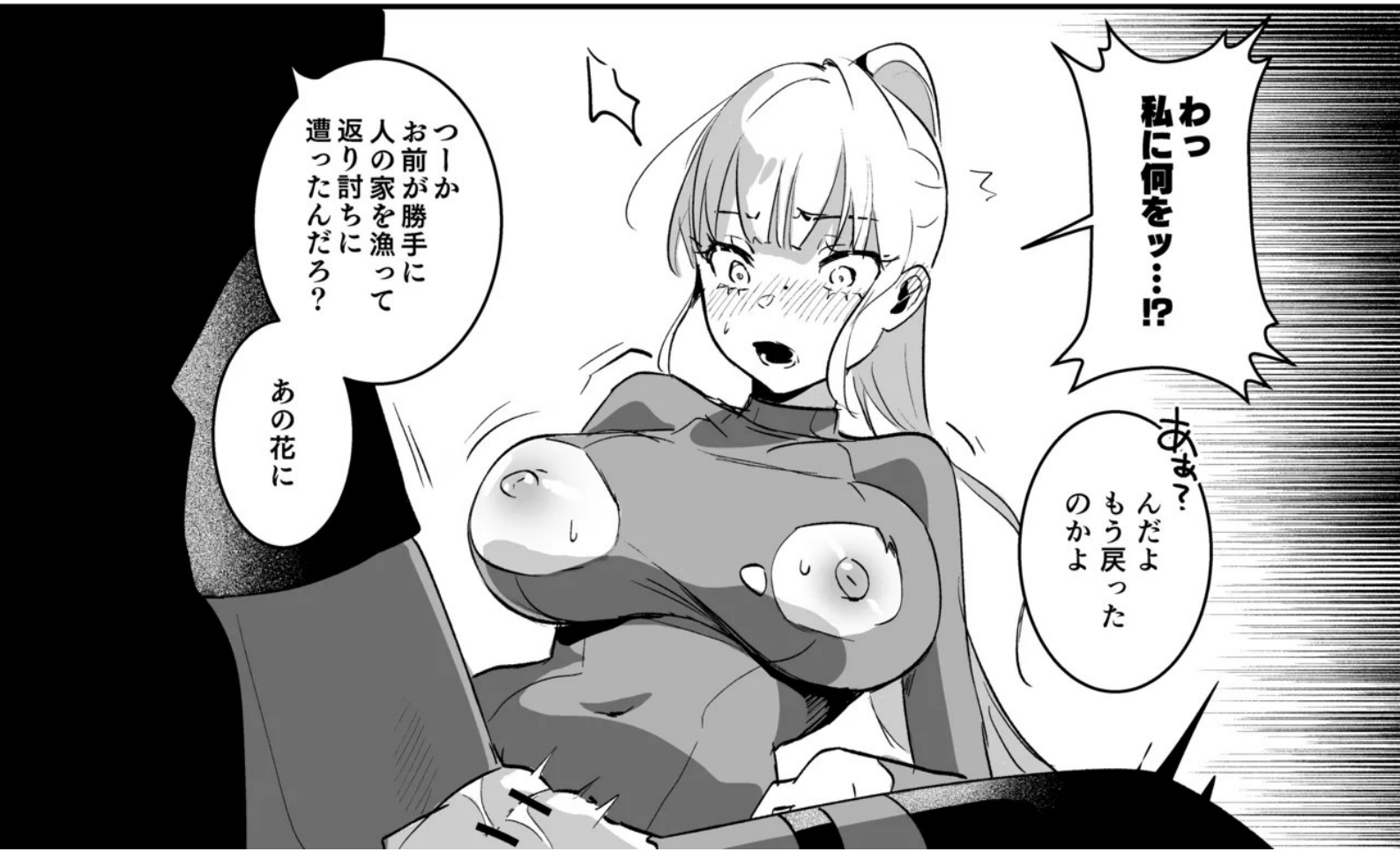
カコン
ここは…!?
これは…種子…?
何かのサンプルかしら?


花？
見たことない種類…

なんだか…

あ…
く…
く…

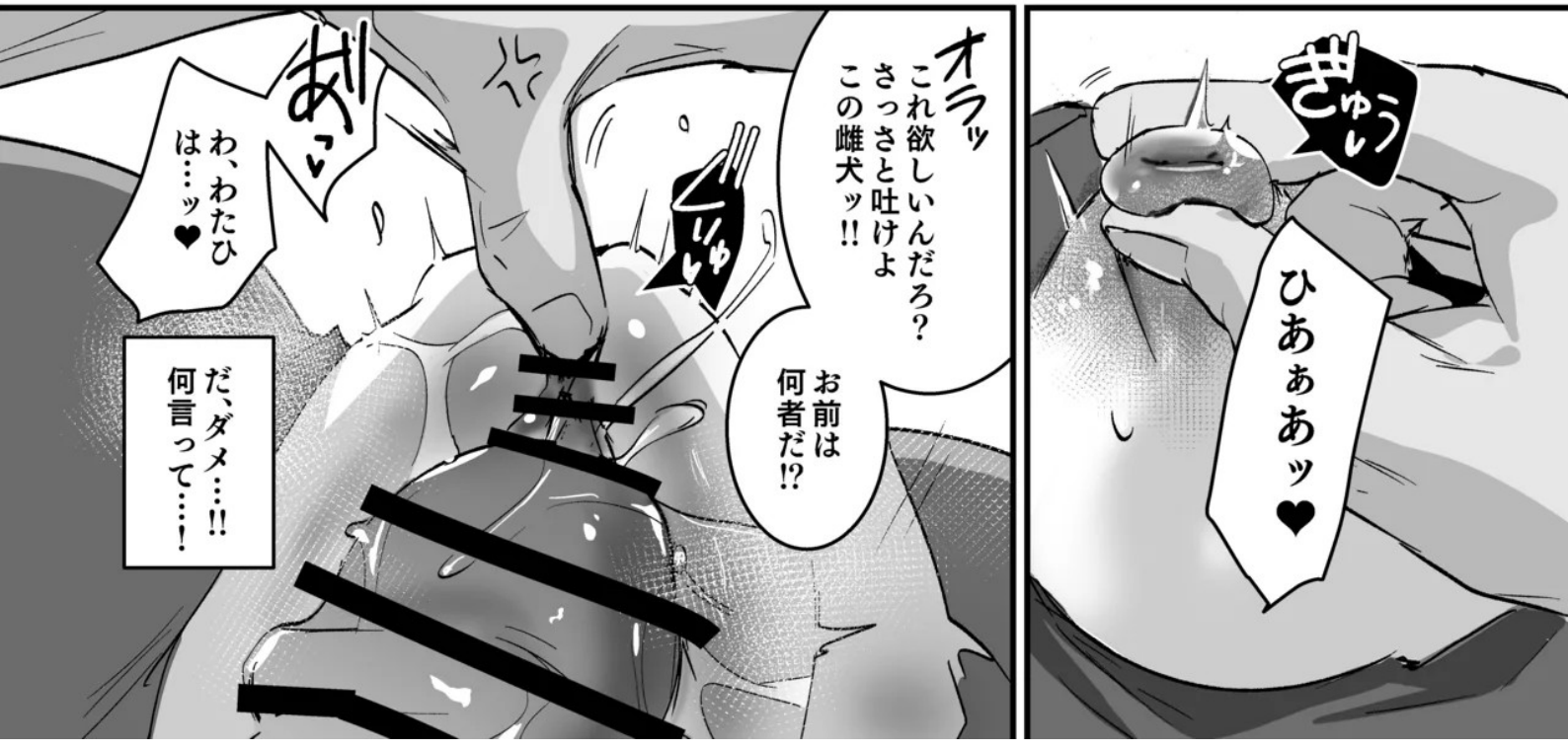

いいぞ
もっと脚広げて
見せろ
はいっ♥
あっ
はっ
はっ
イきそうか？
はい…♥
あ…ッ！
くちゅ
くちゅ…
あれ…？
……え？
これ…
私の声…!?


わっ
私に何をッ…!?
あぁ？
んだよ
もう戻った
のかよ
つーか
お前が勝手に
人の家を漁って
返り討ちに
遭ったんだろ？
あの花に

花…!?
うッ
エヴァ
お前は
何者だ？
ハッ
言うわけ…
あー
やっぱいいや
そんなの
どうでもいいよな
待っ…
ニュ
るッ
きゅん
おかしい…!!
特別な訓練を
受けたこの私が
こんな…っ

こんな男に翻弄されるなんて…ッ
んあぁ…ッ♥
おっ良い反応♥
んぁ♥やめ…ッ♥おぉ♥♥
あの花は「原初の花」
理性を砕き心の奥底の欲望を引きずり出す
親父たちが大金つぎ込んでようやくできたんだぜ？
つってもこれはまだ未完成な「花」の状態で「原初の実」ほどの強い効果もないらしいが…ッ

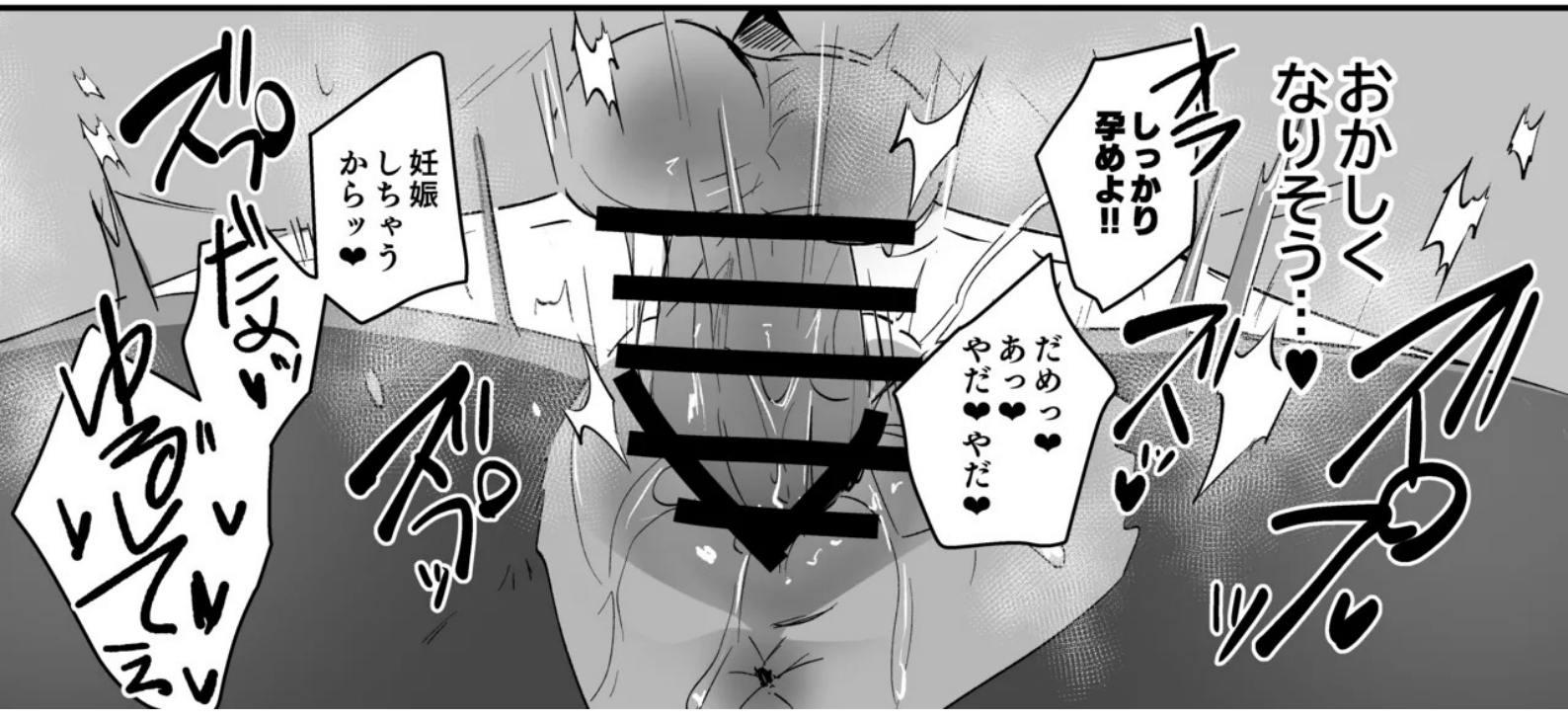
お前には随分効いているみたいだな？
エヴァ
あっあ…？♥
はッ…♥♥
はー♪
はー♪
オルッ…
そういや普段理性的なほど効き目が強いとか聞いたな…
にゅる…
なんで…抜…ッ？


きゅう
ひあぁあッ♥
オラッ
これ欲しいんだろ？さっさと吐けよこの雌犬ッ!!
お前は何者だ!?
くりゅ
あっ
わ、わたひは…ッ♥
だ、ダメ…!!何言って…！

だいきゅう
せんじゅつ♥
しゅせき
そうさかんっ♥
エージェント
ゼータ…
でしゅっ♥
あァ？
政府の
スパイか？
任務に失敗は
許されません♥
ひくっ
ひくっ
任務に失敗は
許されません♥

ゾワ…
ハッ？
何言って…
ブツ
許されな…
失敗っ！
してんだろうがッ！
よ！
っ!?♥
こんなメス穴
ヒクヒクさせてッ！
ちんぽ咥えてっ
んぉッ♥♥
パンッ
パンッ
パンッ

向いてねーよお前ッ
こんな雑魚マンコでよッ
どちゅ♥
どちゅ♥
どちゅ♥
ぐっ
射精すぞエヴァ
チュ♥
チュ♥
だめ…あたましびれて
チュ♥

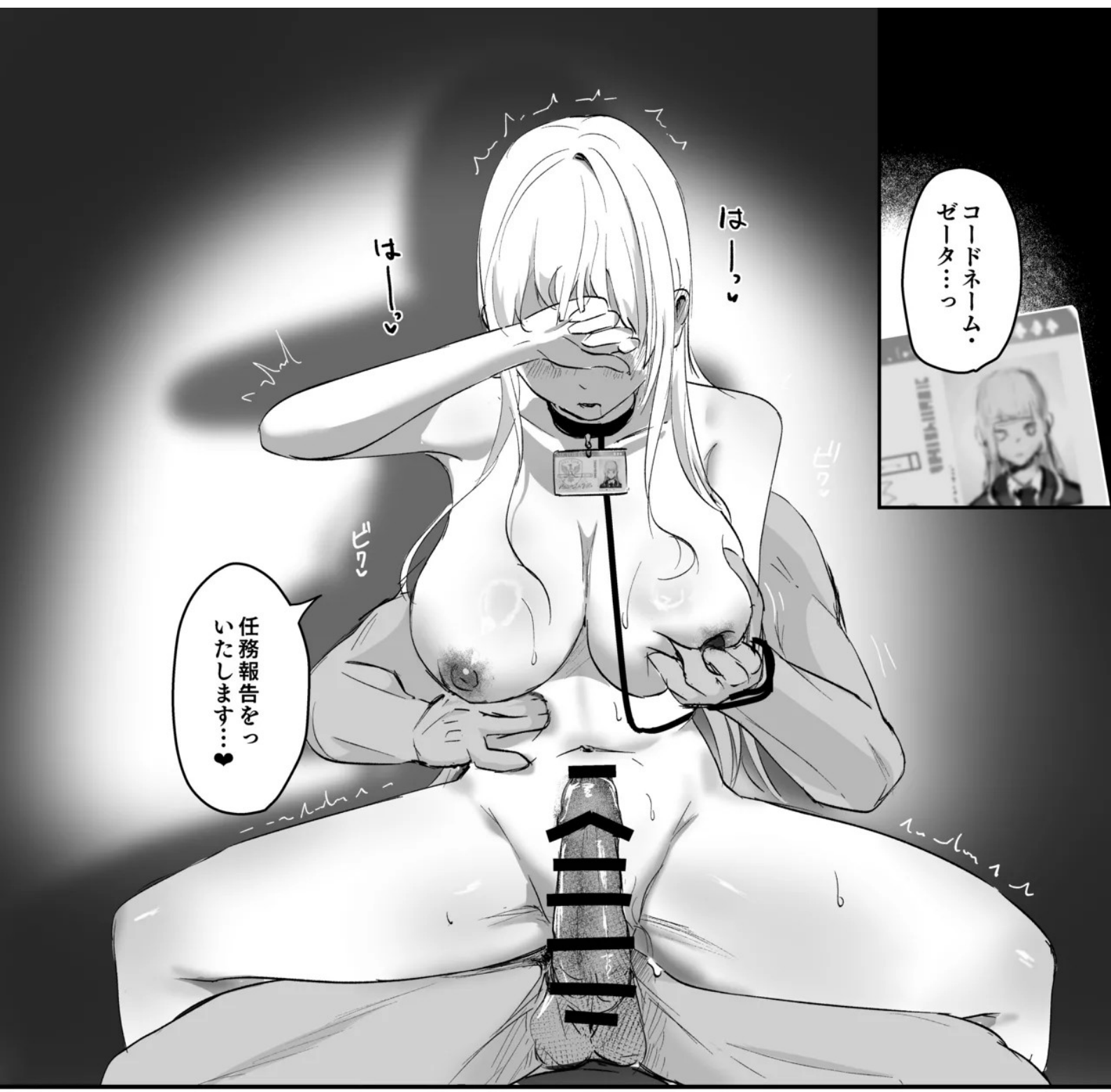

おかしくなりそう…♥
オラ
しっかり孕めよ!!
だめっ♥あっ♥やだ♥やだ♥
妊娠しちゃうからッ♥
ズプッ
だめ
ゆるして

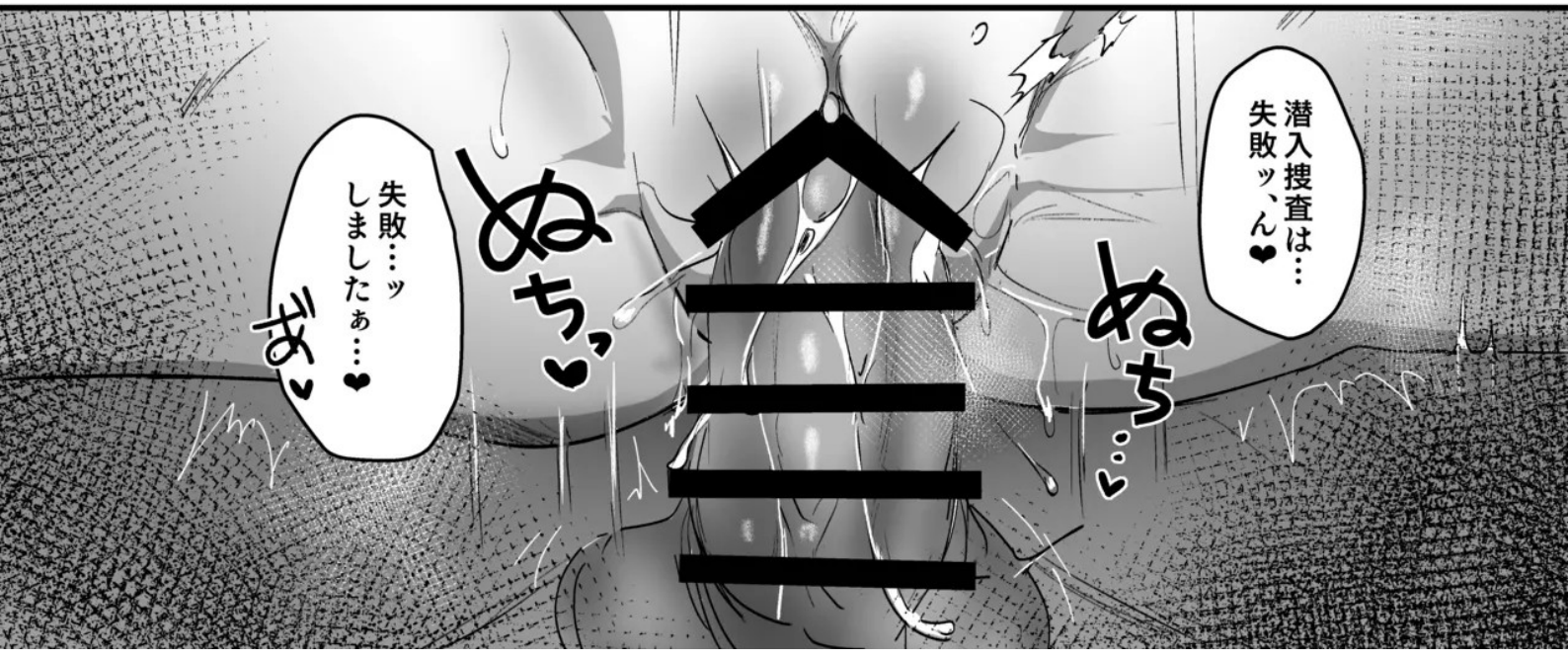
いやぁ…
ビクッ
ゾクゾク
ビュルッ
どぴゅるるるっ!!

おら！まだ終わってねぇぞ
ビュッ
どぴゅるるるっ!!
ビュルッ
ぎっ
ラブが無いでッ
やぁ
ぁぁ
イッ♡

はッ！
雌犬らしい
良いザマだな
ひっ…♥
こんな
ビっ…♥
今まで
失敗なんて
なかったのに
こんなところで
ヘマするなんて…ッ

掃除の時間だぞ
メイドのエヴァ
あ…♥
でも…♥


コードネーム・ゼータ…っ
はーっ♡
はーっ♡
ビク♡
ビク♡
任務報告をっいたします…♥


潜入捜査は…失敗ッ、ん♥
ぬちっ♥
ぬち…♡
失敗…ッしましたぁ…♥
お♡

ごめんなさいっ❤
ごめんなさいっ❤
はっ
パンッ
はっ
んっ❤
ごめんな…
っはっ、んッ❤
パンッ
パンッ
パンッ
あ❤

潜入捜査は失敗しました

発行日　2025/08/19

発行者　吉田Killy（killy.yoshida@gmail.com）

pixiv

X

無断転載・複写・転用・web上へのアップロードを禁止します。
この本は成人向け（R18）作品です。18歳未満の方の閲覧は固くお断りいたします。

Unauthorized reproduction, copying, reprinting, or uploading to the web is strictly prohibited.
This book is intended for adults and is strictly forbidden to those under 18 years old.

この物語はフィクションであり、実在の人物・団体とは一切関係ありません。

This is a work of fiction. Names, characters, places, and incidents are products of the author's imagination.
Any resemblance to actual persons, living or dead, or actual events is purely coincidental.

KillyYoshida